

# んだすな

2018  
8

『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力しあえたらという想いが込められています。



## 「夢をかなえた彼女たち」

1. 活動する場をつくる (2、3 ページ)
2. Information (助成金や募集など)



7月22日、鹿角市のカフェ kotoriusagi にて、同店が主催のマルシェ「夢をかなえた彼女たち」。kotoriusagi の通常のカフェ営業に加え野菜などの販売、大館市の「kirsikka」によるパンと焼き菓子の販売、刺繍作家「Froh！」によるワークショップなどが行われ、訪れた市民がゆったりとした時間を過ごしていました。

※午後、筆者が訪れると販売の品がほぼなくなりそうに。店主の細井氏と話しているとさらに続々と来客。特徴的だったのは、それぞれがマルシェを楽しんだらすぐ帰るのでなく、そのままカフェでくつろぎ、他のお客さんと談笑していたこと。その「場」に行くと人間関係が見え、そこで新たな関係と出会い、構築されていきます。

# 1. 活動する場をつくる

## 「場」を考えてみる

NPOの方で活動する場に困っているという話がたまに聞かれます。そんなとき、行動する前に一度考えて欲しいと思うものがあります。

それは、活動する「場」とはなにかということです。

「場」と聞くと、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。団体の事務所が置かれている場所、サービスを提供する場所（カフェや子ども食堂など）を運営するためにつかう建物、公共施設などさまざまです。

活動の「場」について、以下の2つをポイントに考えます。

- ・建物をもっているが、まだサービスを行っていない
- ・サービスの提供を行っているが、建物はもっていない

どちらが先になっても活動をすることはできますが、建物の場合、家賃などのコスト回収のためのリスクがかかるというデメリットがあります。建物がなくても、サービス提供のやり方を工夫して（1日だけお試しで場所を借りて

やってみるなど）活動してみることはできます。「今できること」を考えた取組が、活動しやすい場づくりにつながっていきます。人間関係（ネットワーク）の構築によってそれがさらに円滑になっていきます。

NPOが活動していくためには、そういった「場」を作る意識がとても重要です。これは建物に限らず、「ほんとうに〇〇がないと始められないものか」問いかけ、可能性を模索することは活動していくため、しっかり盤石な活動をしていきましょう。



## 住民が主体となった助け合いの中での NPO

大館市社会福祉協議会主催で、「地域支えあい勉強会 in 大館」というワークショップが今年度行われています。

高齢化社会で介護保険料が上がって行く中、人口減少と少子化で、介護人材が減って行くことが予測されています。介護保険法の改正から、「地域包括ケアシステム」という仕組みの中で、NPO、ボランティア団体、民間企業、地域住民もサービス提供ができるようになり、地域全体で支援する仕組みづくりが必要とされており、その協議体の設置が進められている中で、協議体の構築を目指すものです。

参加者はNPO、行政、民生委員など多岐にわたり、それぞれが思い描く市の理想像を共有しています。

その第2回目が8月8日に行われ、生活支援コーディネーターと協議体の役割について、さわやか福祉財団鶴山芳子氏の講演で学び、第1層の協議体に必要な人材を選びました。

ここでは、NPOがひとつのキーワードとして、使われているのが印象的で、住民が主体となったときの受け皿や組織の形として考えられているという実感がありました。しかし、NPOをどのように組織していき、だれが何の役割を担うのかについての課題がまだあるのではないのでしょうか。これについて、市民活動サポートセンターなどの関わりが重要になってきます。



第1回目(6/29)のようす

# 1. 活動する場をつくる

## 個々が丸く輪になってつながり働く・集う・出会う場

大館駅前の玄関口につながり新たな働き方を実践する、集う・出会う場所「MARUWWA(マルーフ)」ができました。シェアオフィス、コワーキングスペース、コミュニティサロンとしての機能を備え、気軽に相談できる情報発信拠点を目指しています。利用は会員制で、会員が同伴者を連れてくることも可能とのことです(見学無料)。ネット環境がほしくて、ちょっと場所を借りて仕事ができたらいいな、という方や同じ志の方も集える「場」です。



MARUWWA (マルーフ)  
営業時間 10:00 ~ 20:00 / 火曜日定休  
TEL : 090-9516-4378  
Email : info@maruwwa.com  
HP : www.maruwwa.com  
〒017-0044 秋田県大館市御成町1丁目12-27  
わっぱビルディング2F

この場所は、大館市が実施するまちづくりワークショップの中で、「シェアオフィスがほしい!」と結成したグループが関わっています。こうした市民が主体となった取組や場がNPOの活動の活発化にもつながります。

## 当事者を増やしていく

8月9日、大館市御成座にてリノベーションまちづくりシンポジウムが行われました。講演した青木純氏によると、「まちなかでのなにかやりたい」と実行する当事者を増やすための種まきは重要とのこと。これはNPOにも言えることで、いかに共感する人を増やしていくかが課題で、さまざまなNPOが日々、努力しています。そのためにさまざまな「場」がまちにたくさんできることが必要とのこと。



リノベーションまちづくりシンポジウム(8/9)のようす

今月号のんだすなは「場」をテーマにしています。NPOが団体として立ち上がり、活動していくために「場」をつくることはとても重要です。

「場」をつくっていくためには、志を同じくする人を見つけ話し合ったり協議体を立ち上げたりします。その中で、声の小さな人の意見がきちんと伝わるようにファシリテーターがいて、人をつなげ言語化を促すコーディネーターなどが力を発揮していく機会を設けることも必要です。

今月号で掲載した例以外でも、県北地区ではさまざまな「場」は生まれています。NPOは市民との交流の場、仲間づくりや活動を知ってもらう情報発信、活動する場として、どのように活用できるのかを一度足を運んで考えてみてはいかがでしょうか。

ちなみに北部市民活動サポートセンターがある旧正札竹村は夏場はとても涼しく、まちなかの風穴といっても過言ではない涼しさです。是非、涼みに来てください。

●平成31年度「花博自然環境助成」事業の公募  
**【公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会】**  
 募集期間：2018年8月1日（水）～9月14日（金）（当日消印有効）  
 補助内容：50万円～100万円以内（申請コースで補助率に違い）  
 問合せ先：〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-136  
 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 企画事業部第1課  
 TEL：06-6915-4516 FAX：06-6915-4524  
 E-mail：clover@expo-cosmos.or.jp ←@を半角に  
 HP：http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/33589

●第12回かめのり賞（平成30(2018)年度）  
**【公益財団法人かめのり財団】**  
 募集期間：2018年9月21日（金）必着  
 補助内容：部門毎に正賞として記念の楯および副賞として100万円の活動奨励金  
 問合せ先：〒102-0083 東京都千代田区麹町5-5 ベルビュー麹町1F 公益財団法人かめのり財団「かめのり賞」係  
 TEL：03-3234-1694 FAX：03-3234-1603  
 E-mail：info@kamenori.jp  
 HP：http://www.kamenori.jp/

●重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成  
**【公益財団法人ベネッセこども基金】**  
 募集期間：2018年9月15日（土）  
 補助内容：助成総額1,000万円以内  
 ※1件50～200万円程度想定  
 問合せ先：公益財団法人ベネッセこども基金 助成窓口  
 TEL：04-7137-2570 ※8月13～16日を除く  
 HP：https://www.2.aeon.info/josei/  
 ※収入見込みに自治体の補助金や他の公共法人等の助成金が含まれていても応募可能

●第12回「未来を強くする子育てプロジェクト」  
**【住友生命保険相互会社】**  
 募集期間：2018年7月9日（月）～9月7日（金）必着  
 補助内容：50～100万円（※各要項要確認）  
 問合せ先：「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局  
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル  
 TEL：03-3265-2283（平日10:00～17:30）  
 HP：http://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai\_child/

●2018年度国内助成プログラム  
**【公益財団法人トヨタ財団】**  
 募集期間：2018年9月1日（土）～平成30年10月10日（水）  
 補助内容：上限100万円、実施内容と申請額に基づいた金額  
 問合せ先：〒163-0437 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル37階 公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム担当：喜田、鷺澤、石井  
 TEL：03-3344-1701 FAX：03-3342-6911  
 Email gp4ca@toyotafound.or.jp  
 URL http://www.toyotafound.or.jp/

●緊急助成「平成30年7月豪雨で被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成」  
**【公益財団法人ベネッセこども基金】**  
 募集期間：2018年7月25日（水）～8月31日（金）  
 補助内容：総額2,000万円以内 ※1件50～100万円想定  
 問合せ先：公益財団法人ベネッセこども基金 助成窓口  
 TEL：04-7137-2570 ※8月13～16日を除く  
 P：https://blog.benesse.ne.jp/kodomokikin/news/info/2018/20180720.html

●第6回「エクセレントNPO大賞」  
**【「エクセレントNPO」をめざそう市民会議】**  
 募集期間：2018年7月31日（火）～9月14日（金）必着  
 補助内容：エクセレントNPO大賞く賞状・賞金30万円  
 問合せ先：「エクセレントNPO」をめざそう市民会議事務局  
 〒104-0043 東京都中央区湊1丁目1番12号 HSB 鐵砲洲4階 言論NPO内 TEL：03-6262-8772 FAX：03-6262-8773 Email：enpo@genron-npo.net  
 HP：http://www.seiho.or.jp/activity/social/senior/guideline/

●花王・みんなの森づくり活動助成  
**【公益財団法人都市緑化機構】**  
 募集期間：2018年8月1日（水）～10月14日（日）※当日消印有効  
 補助内容：初年度と2年目各50万円上限、3年目25万円上限  
 問合せ先：公益財団法人都市緑化機構 みんなの森づくり事務局  
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階  
 TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195  
 Email：midori.inf@urbangreen.or.jp ←☆を@に  
 HP：https://urbangreen.or.jp/grant/kao\_minnanomori/guideline-kao

【県央部、県南部の相談はこちら】

■県央部  
 あきた中央市民活動サポートセンター  
 秋田市上北手荒巻字塚切24-2  
 電話 018-829-5801

■県南部  
 南部市民活動サポートセンター  
 横手市神明町1-9  
 電話 0182-33-7002

【サポセンで配布中】

NPOの便利帳

コミュニティビジネスガイドブック2017



みんな

最近、ストローマンという言葉が初めて聞きました。議論の際、対する人の意見を正しく引用せず、歪められた内容に基づいて反論するという論法だそうです。あるいはその歪められた架空の意見のことをいいます。

そのような話をすれば、どの情報も信用できないじゃないかという話になりますが、それが自分で判断して情報を取得する「メディアリテラシー」の基本だと思っています。そんな当事者でありたいです。（高坂）

編集後記

## 秋田県北部市民活動サポートセンター

開館時間 月火水金 9:00～21:00、土日 9:00～17:00  
 木曜と年末年始（12/29～1/3）は休館

〒017-0842 大館市字馬喰町48-1（北部男女共同参画センター内）  
 TEL.0186-49-8553 / FAX.0186-49-8589  
 [HP] https://akita-north-civic-act.jimdo.com/  
 [Facebook] https://www.facebook.com/akita.north.civic.act/

編集 特定非営利活動法人 秋田県北NPO支援センター  
 編集人 高坂翔  
 発行 秋田県 あきた未来創造部 地域の元気創造課

